

設 立 趣 旨 書

1 趣 旨

近年、手術件数の増加や医療の高度化、さらには医療機関間の連携強化に伴い、麻酔科医に対する需要は増大している。一方で、麻酔科医の人的資源には限りがあり、症例ごとの専門性、緊急性、医師の勤務状況等を総合的に勘案した適切な配置調整には多大な時間と労力を要している。このため、現場においては業務負担の増大とともに、調整業務の複雑化が進み、持続可能な医療提供体制の維持が課題となっている。

本法人は、AI技術を活用した麻酔科医配置支援を通じて、これらの課題の解決を図るものである。本事業は特定の医療機関に限定されるものではなく、複数の医療機関における手術体制の安定化や医療資源の効率的活用に資するものであり、その成果は地域住民が享受する安全で質の高い医療の提供へとつながることから、不特定かつ多数の者の利益に寄与するものである。

また、本事業を継続的かつ安定的に運営し、複数医療機関との円滑な連携を確保するためには、特定の大学医局等の枠組みに依存しない独立した法人格が必要である。法人格を有することにより、契約関係の明確化、運営の透明性の確保、適切なガバナンス体制の構築が可能となり、社会的信頼のもとで広域的な医療連携を支える基盤を整備することができる。

さらに本法人は、麻酔科医療の質の向上を図る取り組みとして、地域における麻酔関連セミナーや学会等への協賛事業も実施する予定である。これにより、最新の知見や技術の共有を促進し、地域全体の医療水準の向上および医療従事者の継続的な学習機会の確保に寄与する。

2 申請に至るまでの経過

従来、麻酔科医の配置調整は大学医局において行われてきたが、大学内手術への対応に加え、地域の医療機関からの麻酔依頼が増加する中で、その業務負担は年々増大してきた。症例ごとの専門性や緊急性、医師の勤務状況等を総合的に考慮した配置調整は高度な判断を要し、従来の方法では効率性や持続可能性の面で課題が顕在化していた。

このような状況を踏まえ、配置調整業務の効率化と質の向上を目的として、大学医局と企業の連携により、AIを活用した麻酔科医配置支援システムの開発が行われている。当該システムの導入により、調整業務の負担軽減とともに、より客観的かつ合理的な人員配置の実現が可能となり、地域医療に資する取り組みとして発展させ得る基盤が整いつつある。

一方で、大学医局はこれまで地域医療機関との間で緊密かつ信頼に基づいた連携を築いてきた実績を有しているが、本事業のように複数の医療機関が継続的に関与し、広域的に運用される仕組みについては、より開かれた運営体制のもとで実施することが、関係機関の参画のしやすさや透明性・公平性の確保の観点から望ましいと考えられた。

また、本法人の事業としては、AIを活用した麻酔科医配置支援に加え、地域における麻酔科医療の質の向上および人材育成に資する取り組みとして、県内で開催される麻酔関連のセミナーや学会等への協賛事業も計画している。これにより、最新の知見や技術の共有を促進し、地域全体の医療水準の向上と医療従事者の継続的な学習機会の確保に寄与することを目指す。

このため、当該システムを基盤とした配置支援の仕組みを、地域医療全体にとってより利用しやすい形で発展させ、医療機関間の連携を一層促進するとともに、持続的かつ安定的に運用していく

ことを目的として、非営利の法人として独立した体制のもとで実施することが適切であるとの結論に至った。本法人は、AIを活用した麻酔科医配置支援および地域医療支援を通じて、限られた医療資源の有効活用を図り、地域における安全で質の高い医療提供体制の構築に寄与することを目指し、設立を発起し申請するに至ったものである。

2026年 5月 28日

特定非営利活動法人アネス・ディストリビューション

設立代表者氏名 西原 佑

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。
- 2 2部作成する。